第１号議案

令　和　７　年　度
事業報告書承認の件

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

Ⅰ．事業の実施内容

令和7年度は、牛乳販売店にとって「事業モデルの転換」が強く求められる一年となった。牛乳宅配を取り巻く環境は大きな構造変化の中にあり、燃料費や物流コスト、人件費の上昇に加え、人口減少に伴う市場縮小と労働力不足、さらに主力である宅配商品の見直しや終売といった課題が重なっている。こうした状況のもと、加盟店は従来の延長線上の経営では対応が難しい局面に入りつつある。このような環境変化を踏まえ、全改協では計画に沿って事業を推進するとともに、必要に応じて実施要項の見直しを行うなど、効率性を重視した事業運営に努めてきた。

1．加盟店サポート事業

⑴　ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

①内容：ミルクカレンダーは加盟店と顧客をつなぐコミュニケーション強化ツールである。
本年度は上田淳子氏の監修のもと、タイトルを「牛乳がもっと好きになる！ミルクで作るおやつ＆スープ」とし、おやつとスープ12種、ドリンク6種のレシピを掲載した。
おやつ・スープを中心とした構成とすることで、牛乳を使った料理に気軽に取り組める印象を持たせ、これまで以上に牛乳・乳製品の消費拡大を図った。
レシピに加え、毎日の飲用習慣が健康に寄与することや、日本の酪農を応援するメッセージを掲載、表紙には、農林水産省とJミルクが中心となって推進する 「牛乳でスマイルプロジェクト」のロゴを配置した。
カレンダーは、都道府県流改協、牛乳普及協会、マーク団体を通じて広く消費者に配布したほか、今年度は新たに全国の生乳販売指定団体にも案内を行った。

②実施時期：令和7年5月～12月

③事業実績：発行部数　554,100部
発行売上　40,488,840円（送料・店名印刷代を含む）

各都道府県別発行部数（窓口は流改協、牛乳普及協会等）

県　名	部　数	県　名	部　数	県　名	部　数	県　名	部　数
北海道	22,400	東　京	22,850	滋　賀	8,000	香　川	3,100
青　森	6,050	神奈川	20,000	京　都	13,100	愛　媛	9,710
岩　手	10,500	新　潟	37,600	大　阪	27,800	高知＊	5,700
宮　城	12,320	富　山	8,100	兵　庫	23,900	福　岡	10,150
秋　田	7,100	石　川	7,500	奈　良	3,600	佐　賀	5,100
山　形	9,850	福　井	1,500	和歌山	400	長　崎	3,000
福　島	8,600	山梨＊	5,400	鳥取＊	35,000	熊　本	18,000
茨城＊	5,100	長　野	14,600	島根＊	19,400	大　分	5,200
栃　木	6,000	岐　阜	4,600	岡　山	11,790	宮崎＊	7,200
群　馬	15,100	静岡＊	7,600	広　島	13,530	鹿児島	6,300
埼　玉	4,150	愛　知	18,000	山　口	18,800		
千　葉	32,200	三　重	15,200	徳　島	3,000	合　計	554,100

（流改協組織がない＊印の各県は牛乳普及協会等を経由してあっせんした）

⑵　食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の負担軽減を図るため、公益財団法人食品等持続的供給推進機構が実施する「食品等流通合理化緊急対策事業」の活用を案内した。特に、投資負担の大きい保冷車などの配達車両の更新・新規導入に際して、制度の積極的な利用を促したが、年度内の活用実績はなかった。

今後も、加盟店が計画的に制度を活用できるよう、引き続き周知と案内を行っていく。

⑶　研修支援事業

加盟店の経営課題解決のヒントを得る機会を提供するとともに、都道府県流改協の組織活性化を図ることを目的として、各流改協が主催する研修会を支援する制度の活用を促した。

①支援内容：

規定に基づき、規模に応じた会場使用料および開催支援金を全改協が負担した。

②開催実績：

- 5月17日　愛知県流改協：「強みを活かして選ばれる販売店を目指して」
- 9月 6日　奈良県流改協：「酪農の現状、牛乳乳製品の消費動向と今後の見通し」
- 11月 8日　滋賀県流改協：「お客様の要望を100%叶えたい！　品揃え対策」

※上記の開催内容は録画し、YouTube「全改協チャンネル」に掲載し、共有を図った。

⑷　組織活性化対策

担当理事による検討委員会において、組織の活性化と効率的な運営に向けた検討を進めている。

①組織検討委員会

都道府県流改協のエリア構成の見直しに向け、各地区流改協の加盟店数やマーク団体組織の実態把握を進めている。

②既存事業の見直し（優良事例発表・ミルクカレンダー）

- 牛乳販売店優良事例発表・表彰事業では、発表対象事例の見直しを行い、参加店の拡大に取り組んだ。
- ミルクカレンダー制作・斡旋事業では、カレンダー機能に加え、レシピの活用度を高めて消費拡大につなげるため、気軽に取り組めるメニュー提案を検討した。また、関係団体を含め活用先を広げるため、必要な掲載内容の見直しを行った。

③実施事業の検討

全改協が実施する既存事業の整理と、消費拡大に向けた新たな事業の検討を進めている。

関係団体と連携し、宅配チャネルを活用した施策の検討および提案を行った。

2．優良事例発表および表彰事業

⑴　牛乳販売店優良事例発表会

発表店は、各マーク団体からの推薦を受け、参加店が提出した審査書類に基づき一次審査を実施

し、発表候補店として7店を選定した。候補店には経営専門家3名が訪問調査を行い、その結果に基づく二次審査により、7店すべてを発表店とした。

発表会では、各店の取組内容をまとめた概要報告書を配布するとともに、パワーポイントを用いて視覚的に分かりやすい発表形式とした。中央審査委員による審査の結果、最優秀賞である農林水産大臣賞をはじめ、各賞の選定と表彰を行った。

今回発表した7店舗は、厳しい市場環境の中にあっても、地域や顧客のニーズを的確に捉え、新たな価値創出やデジタルツールの活用による業務効率化を進め、収益性向上に取り組んでいた。また一方で、あえて対面でのコミュニケーションや訪問活動を重視し、温かみのある関係づくりによって顧客維持を実現している事例も見られた。それぞれの強みを活かし、店舗や地域が抱える課題の克服を目指す経営が実践されている。

各事例の内容は、発表会の動画とともに全改協ホームページに掲載し、共有を図った。

◇審査委員（敬称略）

①　一次審査・二次審査委員

小畑秀之（中小企業診断士）　窪田靖生（中小企業診断士）　石川明湖（中小企業診断士）
木納雅康（全改協会長）　白羽恵司（全改協副会長）　宮嵜貴浩（全改協副会長）
家村正則（全改協専務理事）

②　中央審査委員

渡辺裕一郎(Jミルク専務理事)　佐南谷英龍(食料システム機構専務理事)
小畑秀之(中小企業診断士)　木納雅康(全改協会長)
白羽恵司(全改協副会長)　宮嵜貴浩(全改協副会長)
家村正則(全改協専務理事)

◇第37回各賞入賞店

	賞		地域	販売店名	代表者
①	最優秀賞	農林水産大臣賞	東京都	有限会社アレス商会 東京中央宅配センター	小平　高也
②	優秀賞	農林水産省　畜産局長賞	北海道	株式会社道新りんごステーション	伴野　卓磨
③	優秀賞	Jミルク会長賞	福岡県	株式会社エムエム西日本	北城戸　祥一
④	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	群馬県	株式会社森永ライフ	大西　大介
⑤	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	長野県	佐久ミルクセンター 田中牛乳店	田中　正将
⑥	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	静岡県	有限会社い志ばし	石橋　順広
⑦	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	長崎県	合同会社瞭	小川　洵一郎

◇出席状況

	発表店	審査委員	来賓	流改協会長他	メーカー他	合計
本年度出席人数	7	7	9	27	28	78名
昨年度人数	8	7	8	34	30	87名
備　考			審査委員除く	審査委員除く		−9名

⑵　優良経営食料品小売店等表彰事業

公益財団法人食品等持続的供給推進機構が主催する同事業に、当会第36回牛乳販売店優良事例表彰店から４店を推薦しそれぞれ各賞を受賞した。

◇受賞店と賞名

受賞した賞	地域	受賞店
農林水産省大臣官房長賞	岩手県	小岩井牛乳二戸販売店
日本経済新聞社賞	東京都	株式会社デサフィオ
食品等持続的供給推進機構会長賞	茨城県	神吉商事株式会社
食品等持続的供給推進機構会長賞	滋賀県	株式会社クエスト　ミルキスト

３．事業説明会議

令和7年度事業の詳細説明を目的として、7月4日(金)オンラインで開催した。

・出席対象は流改協事務局、メーカー窓口担当者、マーク協会役員

組　織	所　属	人　数
都道府県流改協	事務局長、会長	24名
マーク協会役員	雪印メグミルク協議会	2名
	小岩井牛乳協議会	2名
	森永牛乳協会	1名
メーカー担当者	雪メグ、森永、協乳、小岩井、九州乳業	11名
全改協	木納会長、家村専務、南山理事、事務局	5名
協力会社	ミルクカレンダー事務局（㈱ｚａｚａ）	1名
計		46名

４．広報関連事業等

⑴　機関紙「全改協だより」

全改協事業の内容および実施状況の周知を図るとともに、販売店経営に関係する酪農・乳業の各種情報、牛乳・乳製品に関する知識、業務の円滑化に資する資料や情報、さらに経営改善に役立つ各種公的助成制度等を掲載した。

また、全加盟店への迅速かつ確実な配布を実現するため、メーカーと加盟店間の通信ネットワークを活用し、データ配信の推進を図った。

・第110号（7/30）第４８回通常総会の報告、令和７年度事業概要、事業説明会議報告

・第111号（1/1）会長年頭所感、需要創出事業の周知、消費者向けイベント参加報告他

・第112号（3/30）第３７回優良事例発表会の報告、食料品小売店表彰他お知らせ

⑵　ホームページ

加盟店および関係先への情報伝達を強化し、内容をより詳細に周知するため、優良事例発表会の内容をはじめ、酪農・乳業界に関する情報等の掲載に努めた。

５．関係団体との連携

酪農乳業界の一員として関係団体と連携をとり、各団体が実施する事業への参加および情報の共有と活用を進めた。

①一般社団法人Jミルク

正会員として、担当役員が理事会およびマーケティング専門部会に出席し、業界共通課題への対応に参画した。

・Jミルクの生産流通関連事業への理解を深めるとともに、学術調査関連事業における研究知見の活用を進めた。

・コミュニケーション関連事業では、牛乳乳製品の需要拡大に向けた業界方針を共有し、「牛乳でスマイルプロジェクト」メンバーとして宅配による需要拡大事業に参画した。

◇実施した需要拡大施策

〇「酪農応援プロジェクト」

「牛乳乳製品飲んで、すすめて、健康と元気を届けよう！」をテーマに、既存顧客向け・新規顧客向けの2種類のリーフレット計120万部を制作した。

全国1,410店の牛乳販売店が活用し、

・既存顧客には「もう一本増やすことが日本の酪農の応援につながる」ことを訴求。

・新規顧客には「店頭では購入できない商品が手に入る」「継続摂取が健康維持につながる」などのメリットを説明し、子育て世代を中心とした新規顧客層の獲得に取り組んだ。

〇消費者向けイベント「ミルクフェスin豊洲」への出展

消費拡大を目的としたイベントに主催8団体の一つとして「宅配牛乳ステーション」を出展した。

〈出展内容〉

・パネル展示：宅配利用のメリット等を紹介

・備品の展示：保冷受箱、蓄冷剤、保冷バッグ、スタッフユニフォームなど

・配達車展示：冷蔵車輌を展示して安全対策をアピール

・配　布　物：各社提供の宅配商品とパンフレット、新規顧客開拓用リーフレット

〇ヨーグルト消費拡大事業

Jミルク中心にヨーグルト摂取の新たなライフスタイル提案として夜のヨーグルト喫食を推進する「ヨルグルト」をテーマに、オリジナルキャラクター「グルトくん」が登場するweb CMを配信。また、全国のスーパー、コンビニ店頭で「夜のヨーグルト」をすすめするPOPやデジタルサ

イネージが展開された。

宅配チャネルにおいても一般市場の盛り上がりを活用し、流通市場の展開と連動した宅配向けリーフレット58万部を制作した。

・既存顧客には、朝の健康習慣として定着している「ヨーグルト」に加え、新たな食スタイルとして「夜のヨーグルト」を提案し健康効果を伝えた。

・新規顧客向けには、イベントセールス時に流通市場と共通デザインの宣材を活用し、宅配専用商品を含むヨーグルトの新たな価値を訴求して宅配契約につなげた。

〇「土日ミルク」

学校給食のない日に家庭での飲用を促進するため、「土日ミルク」企画の周知および提供コンテンツの活用を行い、牛乳乳製品への理解向上と需要拡大に取り組んだ。

②公益財団法人 食品等持続的供給推進機構

担当役員が理事として理事会に出席し、食品等業界団体との交流に努めた。また、同機構が実施する事業への参加や、食品流通改善に資する支援制度の活用を進めた。

6．総務関連

⑴　連絡体制

発信文書のメール配信による効率化を進めるとともに、対象送付リストの整備を行った。

⑵　法令および規則への対応

酪農乳業界および会員都道府県流改協、加盟店に関係する各種法律ならびに公的制度の動向を常に注視し、必要に応じて情報提供を行った。

また、公益法人関係団体や税理士等との連携強化により、ガバナンスの確保に努めた。

さらに、保有する個人情報について、適切な保護・管理の強化を図った。

7．その他

⑴　災害見舞金の支給

８月から９月にかけ西日本中心に各地で豪雨被害が発生。被害にあわれた加盟店への見舞金として、規定の一律10千円、総額40千円を対象に支給した。支給先と金額は下記の通り。

① 熊本県流改協　　3店　30千円

② 鹿児島県流改協　1店　10千円

以上

令和７年度　主な会務・事業等の概要

【全改協】

令和７年４月１８日	監事監査
５月　９日	第１回理事会
６月１３日	第４８回通常総会
７月　４日	事業説明会議（Web会議）
７月１１日	第２回理事会（Web会議）
９月１０日	臨時理事会（Web会議）
１０月１７日	牛乳販売店優良事例 第一次審査会
１１月２１日	第３回理事会
１２月１２日	牛乳販売店優良事例 第二次審査会
令和８年２月１３日	第４回理事会（Web会議）
２月２０日	第３７回牛乳販売店優良事例発表会
３月１３日	第５回理事会

【Ｊミルク】

令和７年５月２１日	監事監査に担当役員出席
５月２９日	第１回理事会に担当役員出席
６月１９日	定時総会及び第２回理事会に担当役員出席
７月２４日	宅配チャネル需要拡大事業会議に担当役員・事務局出席
７月３０日	国産牛乳乳製品需要拡大情報連絡会に事務局出席
８月　７日	宅配チャネル施策第１回打合せに担当役員web・事務局出席
９月１２日	宅配チャネル施策第２回打合せに担当役員・事務局出席
９月２６日	「牛乳でスマイルプロジェクト」イベント会議に事務局出席
１０月２２日	第１回マーケティング専門部会に担当役員・事務局出席
１１月　４日	第３回理事会に担当役員出席
１１月１２日	国産牛乳乳製品の需要拡大に向けた８団体合同記者会見に事務局出席
１１月１５日	牛乳でスマイルプロジェクト「ミルクフェスin豊洲」担当役員・事務局
令和８年１月２２日	第２回マーケティング専門部会に事務局出席
１月２９日	第４回理事会に担当役員出席
２月２６日	第５回理事会に担当役員出席
３月１７日	第２回臨時総会に担当役員出席
３月２４日	「牛乳でスマイルプロジェクト」優良事例表彰式に役員・事務局出席

※2025年度下期ヨーグルト消費拡大事業及び中長期事業検討会議(11月～3月)各会議に事務局出席

【乳業団体】

令和８年１月　６日	乳業団体合同賀詞交歓会

【食品等流通合理化促進機構】

令和７年６月　３日	第１回定例理事会に担当役員出席
令和７年８月　８日	臨時理事会に担当役員出席
令和８年２月１９日	第３５回優良経営食料品小売店等表彰式に事務局出席
令和８年３月　６日	第２回定例理事会に担当役員出席

以上